

第1回 多摩市街路樹よくなるプラン改定委員会 要点録

日時： 平成29年8月4日（金） 15時～17時15分

場所： 多摩市役所第二庁舎会議室

出席者：【委員】（敬称略）

池邊 このみ 大石 武朗 大橋 久仁恵 清水 義功 仙仁 径
曾我 昌史 中尾 浩 沼田 真也 野村 徹郎 宮内 泰之

【事務局】

阿部市長

都市整備部長 森田

道路交通課長 内田

道路交通課整備保全担当主査 山本

道路交通課整備保全担当 芦澤・高橋・住

【傍聴】 1名

■ 開会

■ 委嘱状の交付

- ・阿部市長より、各委員へ委嘱状を交付した。

■ 市長挨拶（要旨）

- ・最初に、委員就任につきお礼を申し上げる。改定へのご協力をお願いしたい。
- ・諏訪・永山団地第一次入居などにより丘陵地を広い範囲で造成し、高度経済成長期にこれらを担う若者の街として発展した。その際に、切り拓かれた丘陵地帯を復元するのではなく、山の緑そのものを回復しようと様々な樹木が植えられた。現在は、高木が、街路に約8千本、ペデ部に約9千本と、豊富な樹種構成で高木が植栽されている。
- ・多摩地区は、みどりが豊富な地区であり、多摩市は緑につつまれた宝石のような街である。
- ・市には、上之根大通りのモミジバフウのように、全国から写真を撮りに来る街路樹があり、ウォーキングイベントも開催されている。
- ・一方で、植栽されてから40年以上経過し、根上りや信号などの視認阻害など課題もみられるようになった。
- ・安全性を考慮し、345本のモミジバフウのうち35本を伐採する予定であったが、市民からの要望もあり、15本を伐採し、20本を剪定で対応するなど工夫しながら管理を行ってきた。

- ・市は道路管理者として、強風などによる街路樹からの落枝などで二次的な被害が発生した場合は、その責任を負うことになる。
- ・また、うっそうと茂った場所は、保護者の方から薄暗く子供たちの通学時に危険であると指摘される一方、立派に育ったみどりを守ってほしいという意見もある。
- ・様々な意見が寄せられる中で、今後5年、10年、20年を見据えて、現在の街路樹環境を維持しながら、市民にとっての「よくなるプラン」として認知いただけるよう改定をしていきたい。

■ 委員・事務局紹介

池邊委員、大石委員、大橋委員、清水委員、仙仁委員、宮内委員、野村委員、沼田委員、中尾委員、曾我委員の順に自己紹介が行われ、その後、その後、市職員と改定業務の受託者職員の自己紹介が行われた。

■ 議事

1 委員長、副委員長の選任

街路樹よくなるプラン改定委員会設置要綱の規定に基づき、委員の互選により、以下のとおり委員長、副委員長を決定した。

委員長	池邊	このみ
副委員長	沼田	真也

2 多摩市の街路樹の現状と課題、プランの改定について

(1) 事務局より資料3を使って、標記議題に関して説明を行った。

(2) 質疑応答

委員 : 今回の改定で取り組む事項として、課題に対して重点的に取り組む事項が示されているが、現行プランのように重点路線を決めて実施するものか。

事務局 : 今回も重点路線を定める。重点路線については再検討を行いたいと考えている。また、モデル路線を定めながら、課題解決のための試行を市民の方が確認できる状況で検証していくような路線も決めて行きたいと考えている。

委員 : 街路部全般で目に付くこととして、役目を終えて不要になった支柱が残っており、樹木の生育・景観に悪影響を与えている。

事務局 : 市民からも意見をいただいているところであり、適宜撤去等しているが、全てを対処しきれていないのが現状である。順次できるところから進めている。なお、建築限界を侵害しているようなところもあるため、昨年度より下枝の剪定費用も予算化するなど管理をより拡充させた対応を進めている。

委員長 : 委員からご指摘があった、景観的な観点もプラン改定で検討してほしい。

- 委員 : プラン改定の進め方であるが、現状の課題を 5 つぐらいのカテゴリーに分けて検討してはどうか。例えば、「物理的」、「生物的」、「心理的」、「景観的」、「経済的」等である。また、それぞれのカテゴリーの中ですぐに取り組むべきことなど優先順位や今後の対応のスケジュールを整理することで市民とのワークショップなどで議論できる論点も絞りやすくなるのではないか。
- 委員長 : 課題を項目に分けて議論すると分かりやすいがそのようにできるか。
- 委員 : 重点事項と課題事項のマトリックスで整理してはどうか。
- 事務局 : 現状の課題の分類など、事務局案を整理のうえ、お時間をいただき、次回委員会で各委員に提示したい。
- 委員 : 現状の課題は、実態を委員に直接見ていただいてから議論すべきではないか。半日程度時間を確保し、徒歩で問題個所の現地を実際に見てもらい、共通の現状認識を持つべきではないか。
- 委員長 : 問題となっている箇所の現地確認は必要と思う。
- 事務局 : ご意見を踏まえ、現地確認をどう行うのかを検討する。別途、街路樹に関するワークショップを検討中であり、ワークショップメンバーと委員で現地視察を行うことも検討している。今後日程などを調整してお知らせする。
- 委員長 : ワークショップ参加者と現状を共有することは重要である。合同で視察するのが良い。
- 事務局 : 了解した。

3 アンケート調査の実施について

1) 事務局より資料4を使って、標記議題に関する説明を行った。

2) 質疑応答

- 副委員長 : 問 9 は、管理レベルと管理費用の 2 つの内容が混在している。管理レベル・予算をそれぞれ①現状維持、②落とす、③上げるに分けて回答できるようにしてはどうか。
- 委員長 : 副委員長の意見を踏まえ、事務局で修正案を検討してほしい。
- 委員 : 問 1 で街路樹が好きな場合は問 2 でその理由を聞いているが、課題の抽出で重要なのは嫌い(いいえ)と回答した場合の理由も聞くべき。なお、どちらでもない、を選択した場合、理由は不要である。
- 委員 : 問 1 で、「はい」以外を回答した場合、次はどこの問を回答したらよいか、設問から読み取れない。回答者が流れを把握できるようにすべき。
- 事務局 : 問 1 とその次の問いが分かるように修正案を検討する。
- 委員 : 問 1 では多摩市の街路樹についての問いであるのだから、いいえ(すなわち嫌い)と回答したのであればどこの路線、どの街路樹かが分かるようにすべき。
- 委員 : 問 1 では街路樹の好き・嫌いを問うのではなく、関心のある・なしにして、問

2で特に好きな街路樹路線を回答してもらったらよい。この際、街路樹マップ等を活用して、通りの名前とそこに植栽された樹種が示された地図を同封するなど、工夫してはどうか。

事務局 : 配布対象が840と多く、また市の全路線を図面に入れるのは困難。また限られた通りに限定したマップを示すと回答を誘導することになる。白地図を回答用紙に加えて地図上で示すことも考えられるが、回答者の負担となることも想定される。このことについては事務局で改めて検討し、委員長と協議の上で各委員にお知らせすることとしたい。

委員 : アンケートを急いで出す必要はないのではないか。市民の声を的確に吸い上げることが可能なアンケートを十分時間かけて練るべきである。

委員長 : プラン改定にあたって市民意見を反映することを目指した事務局のスケジュール案と認識しているので、本日の意見を踏まえた修正版を確認いただいた上で配布することでどうか。

委員 : 問4で好きな木の名前を問うているが、ケヤキやイチョウはわかるが、回答者によっては、名前が分からない木があって回答できない可能性がある。

委員 : 樹種の好みでなくても、好みの通りを複数挙げてもらうことで樹種を推測してもらえるのではないか。

委員長 : 樹種は誰もが分かりやすい樹種に絞って表示し、それ以外はその他として、分かる回答者が()内に自由に樹種名を入れてもらうようにしてはどうか。

委員 : 問5を基本に、問4をやめて問5の自由記載欄に選択ではなく回答者のイメージにある具体的な樹種名を記載してもらうのはどうか。

事務局 : これらのいただいた意見を踏まえ、事務局にて問4について修正案を検討する。

副委員長 : 市の道路や街路樹全体に関する問いと重点路線を導き出す問いが混在しているので、回答しやすいように順番や構成を再考してほしい。

委員長 : 委員のご意見を踏まえ問2、問4、問5について事務局でより分かりやすいように修正してほしい。また、回答した路線と樹種を明確にするためにマップを配布したり、回答用紙に白地図を入れるのは難しいようなので、事務局にて代替案等を検討してほしい。

事務局 : 事務局で修正案を検討したい。また、アンケート結果については、ワークショップなどの検討資料としていきたい。また、アンケートとともに、ワークショップメンバーの募集を行っていきたい。このスケジュールを踏まえ、本日から1週間の期限を設定し、各委員から意見をいただき、修正案をまとめ、改めて各委員にご提示したい。

委員長 : アンケートについては、各委員からの意見を収集し、事務局で修正案を作成の上で再度各委員にて確認いただいてから配布することで了解いただきたい。

委員 : 意見の回答方法はどうか。

事務局 : メール又はFAXで事務局あてに回答いただきたい。

(4) その他

事務局 : 次回の開催は10月20日14:00~を予定している。

■ 閉会